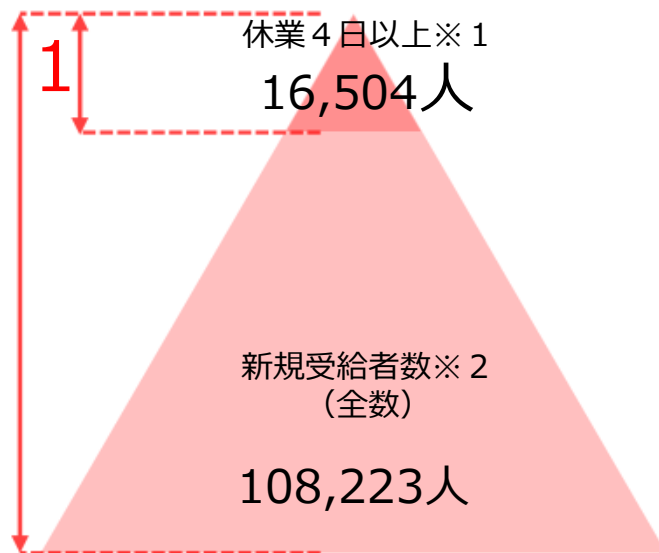


小売業の労働災害発生状況

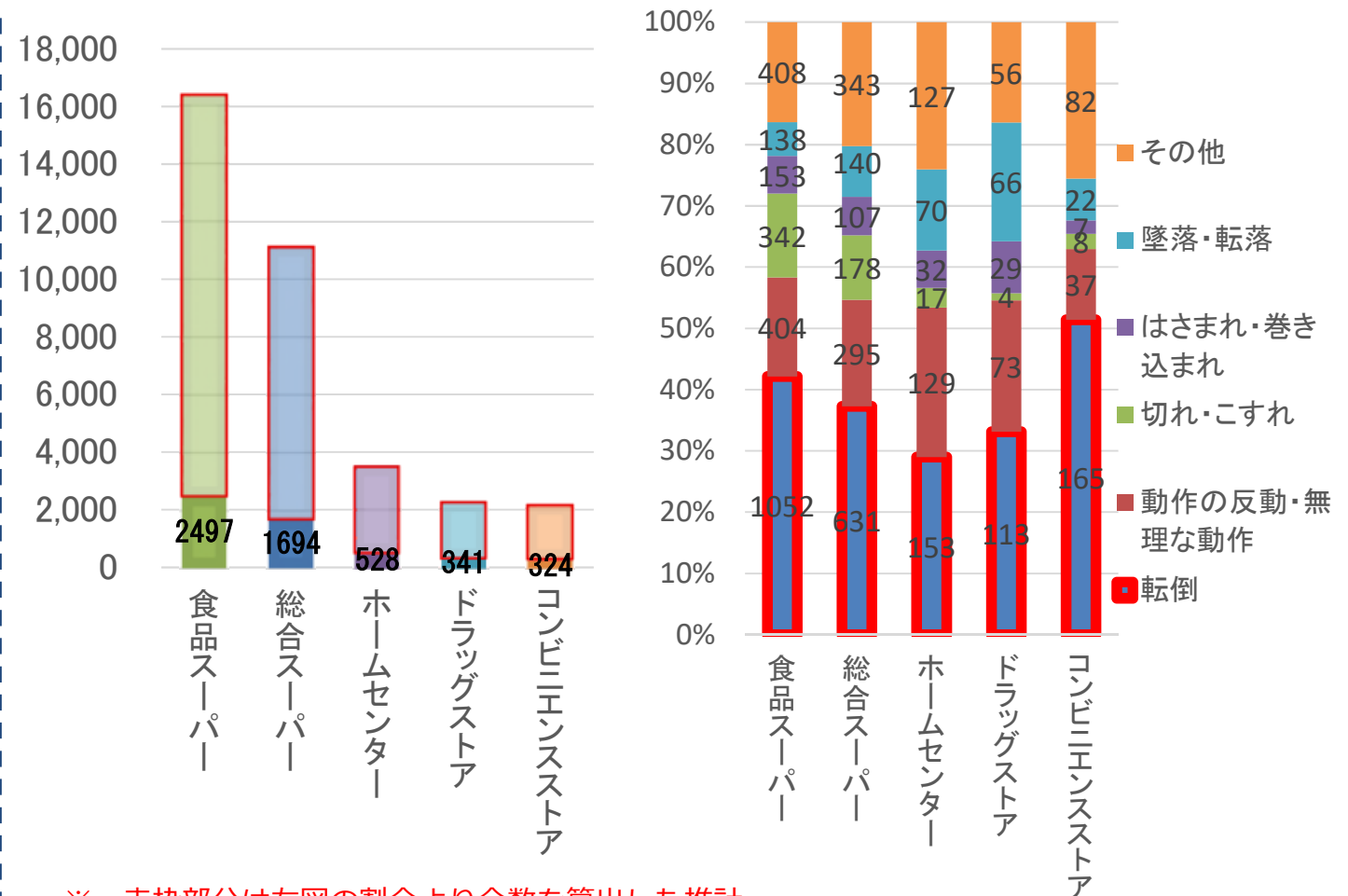
- 小売業の労働災害（休業4日以上）のうち業態別では、食品スーパー、総合スーパー、ホームセンター、ドラッグストア、コンビニエンスストアの順に多い。
- 上記全ての業態で転倒が最多で、動作の反動・無理な動作が次に多い。

卸売業・小売業の労働災害発生状況

全体の労働災害は、
休業4日以上の労働災害の約7倍



小売業の業態別死傷者数（上位5業態） 小売業の業態別・事故の型別死傷者数



※ 赤枠部分は左図の割合より全数を算出した推計

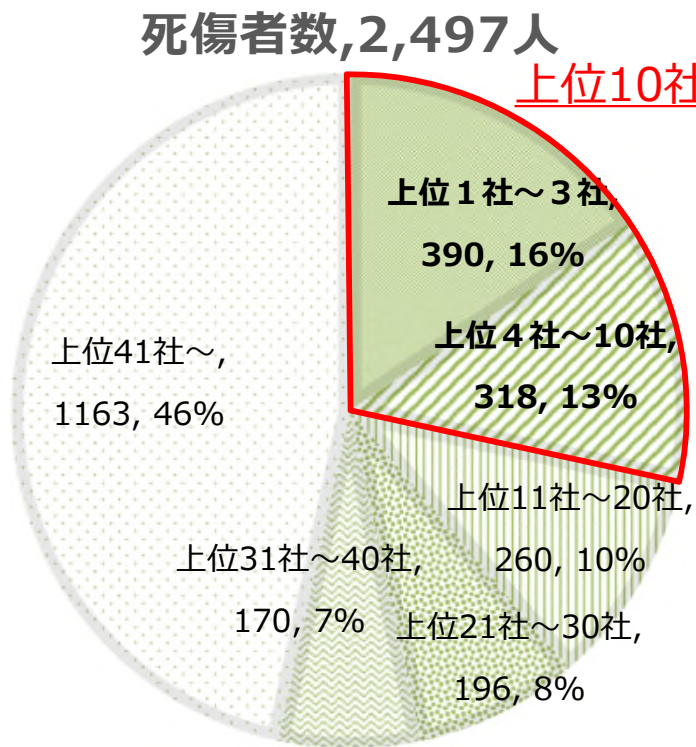
出典：平成29年 労働者死傷病報告を元に中央労働災害防止協会が集計したものより抜粋

- ※1 平成29年労働者死傷病報告より
- ※2 平成29年度労働者災害補償保険事業年報より
(新規受給者数は通勤災害を含む年度単位の集計)

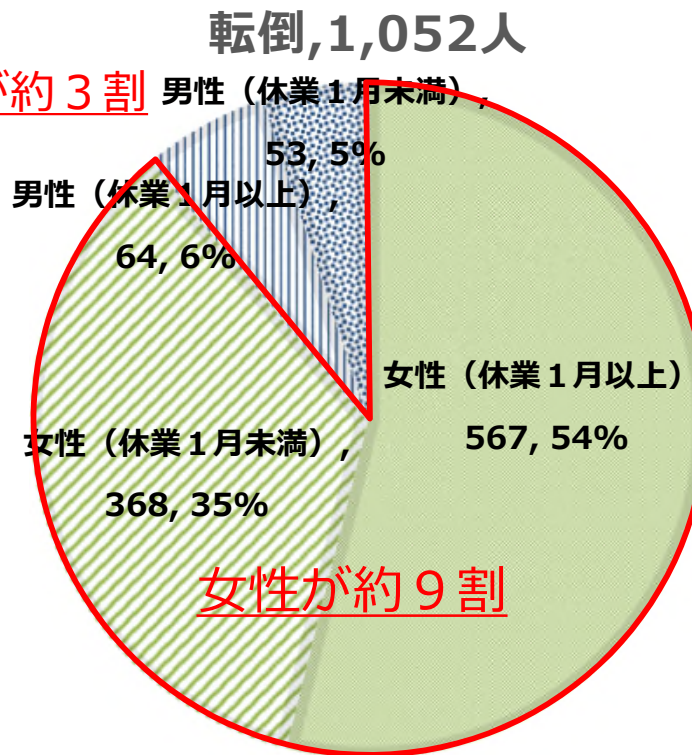
食品スーパーの労働災害発生状況

- 転倒の約9割が女性で、そのうちの約6割が休業1月以上。高齢となるほど多く、50代以上では骨折が約7割。

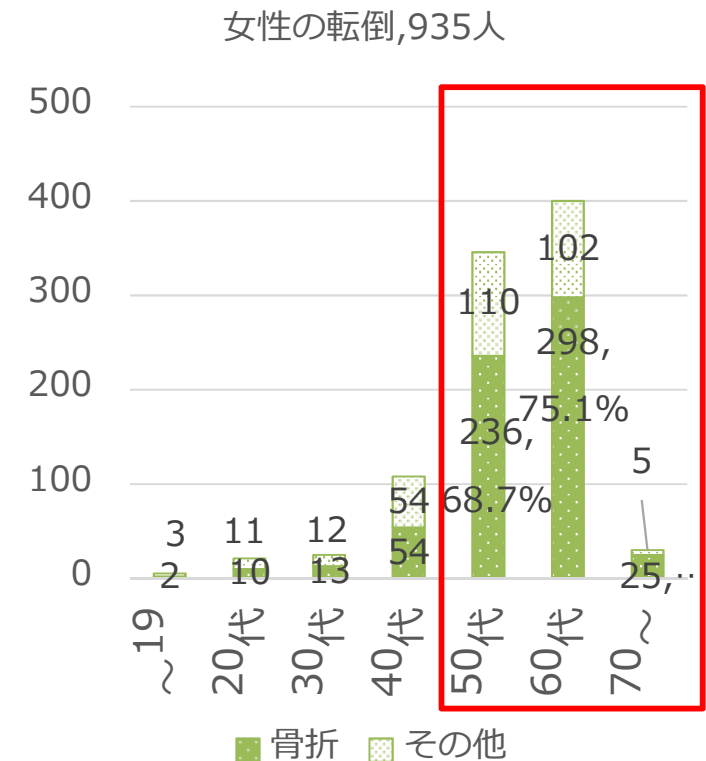
企業単位別



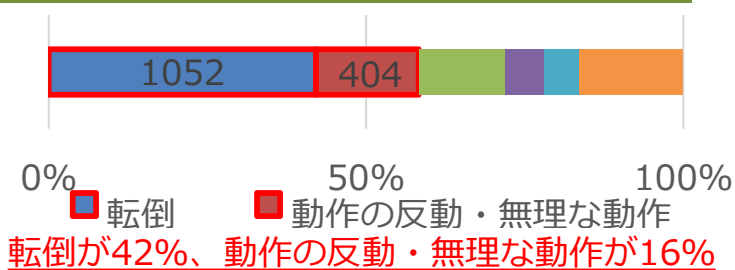
転倒災害 性別・休業期間別



転倒災害 傷病性質別・年代別



事故の型別



女性の転倒の約6割が休業1月以上

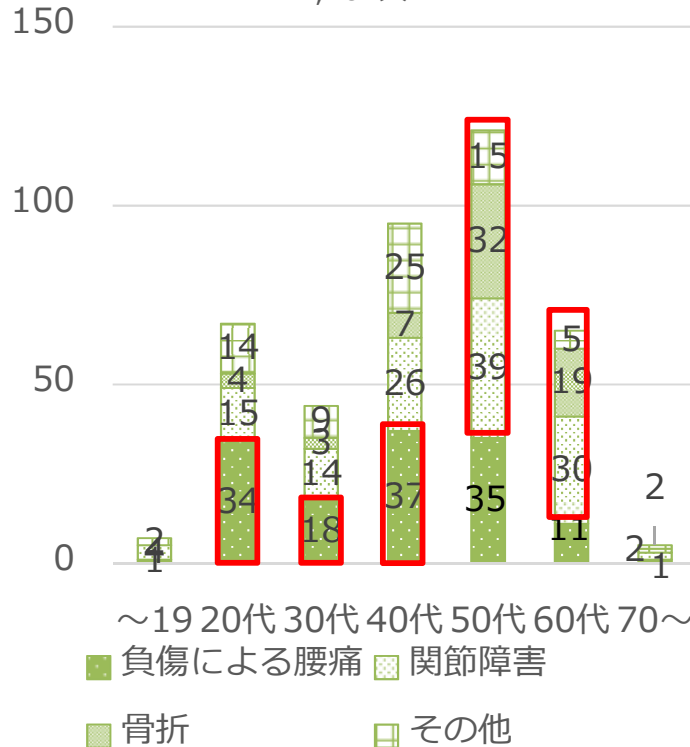
高齢となるほど多い
50代では骨折が約7割

食品スーパーの労働災害発生状況

- 動作の反動・無理な動作による労働災害は、**40代まででは腰痛が最多。50代以降は関節障害、骨折が多くなる。**
- 転倒災害を場所別で推計すると36%が店舗内、24%がバックヤードで発生。**店舗内での転倒災害のうち、つまづきによるものが48%。****バックヤードでの転倒災害のうち、滑りによるものが46%。**

動作の反動・無理な動作 年代別・傷病性質別

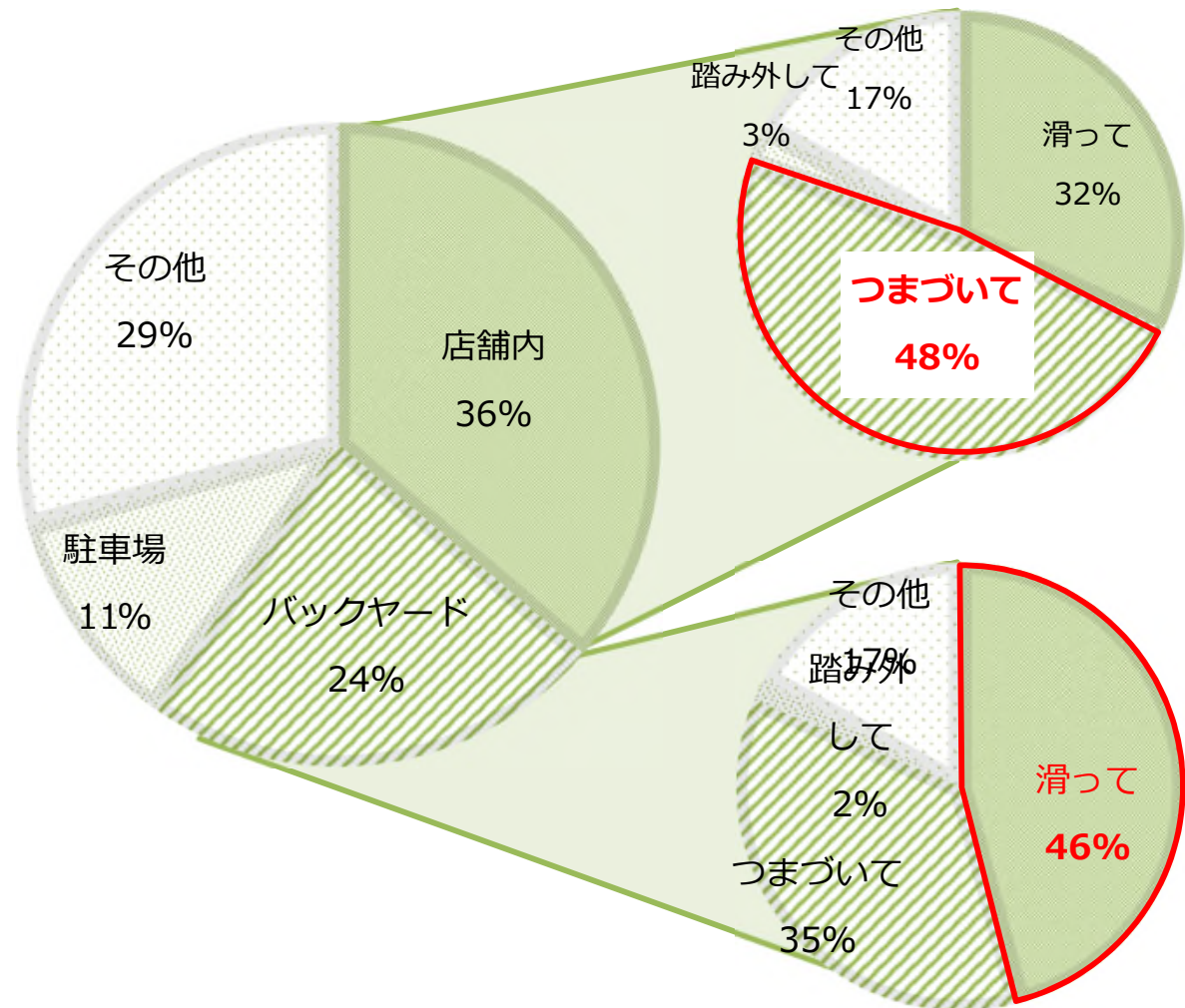
動作の反動・無理な動作
4,044人



50代以降で関節障害、骨折が多い

転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年に食品スーパーで発生した転倒による労働災害1,052件から502件を抽出して集計したもの

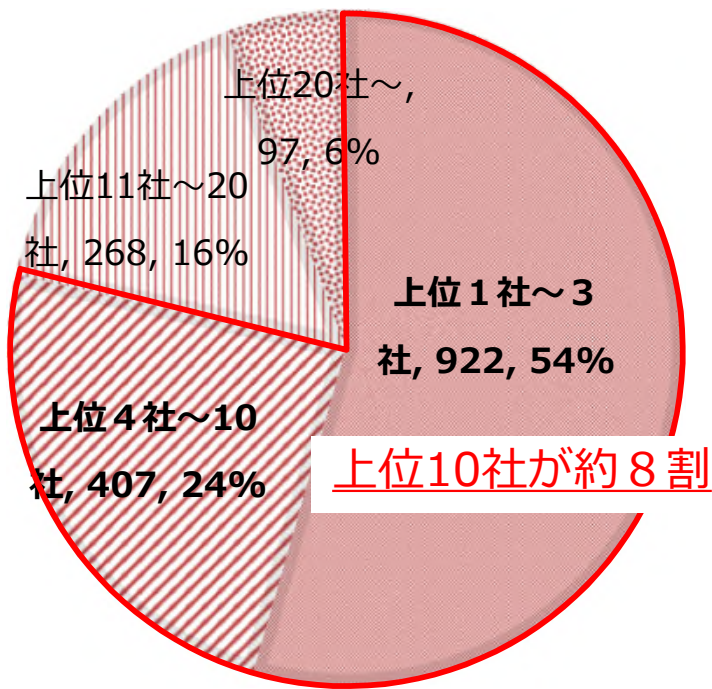


総合スーパーの労働災害発生状況

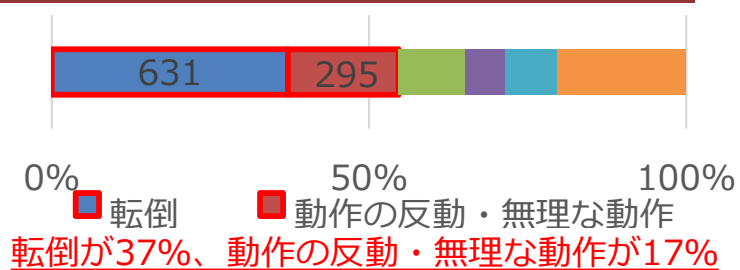
- 転倒の約9割が女性で、そのうちの約5割が休業1月以上。高齢となるほど多く、50代以上では骨折が約7割。

企業単位別

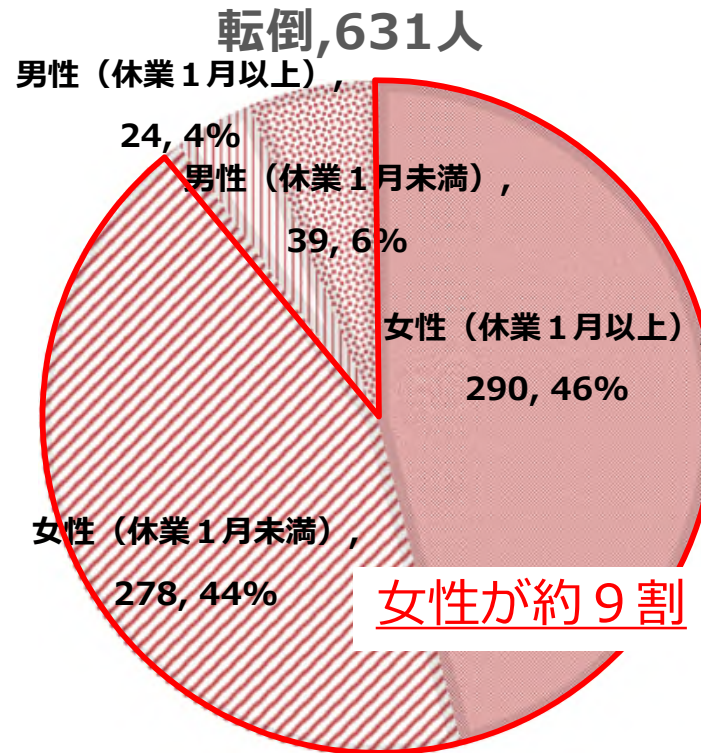
死傷者数,1,694人



事故の型別



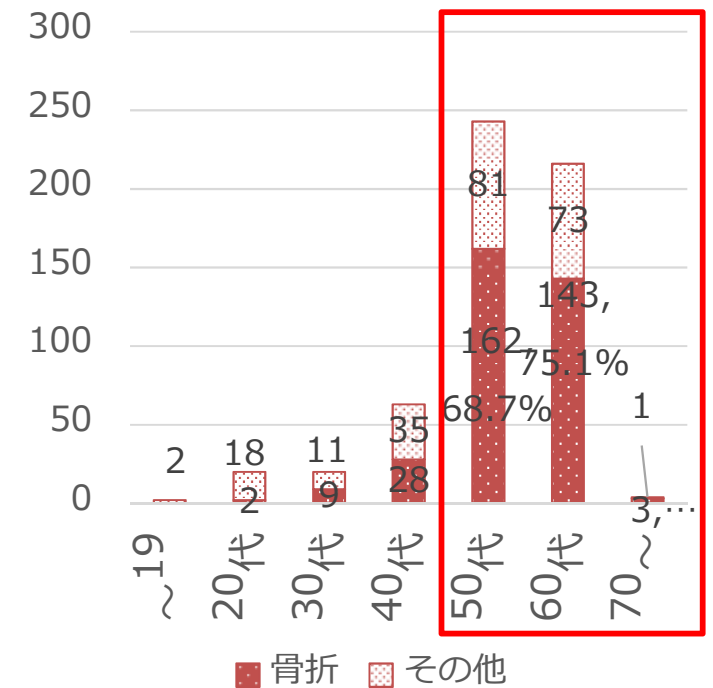
転倒災害 性別・休業期間別



女性の転倒の約5割が休業1月以上

転倒災害 傷病性質別・年代別

女性の転倒,568人



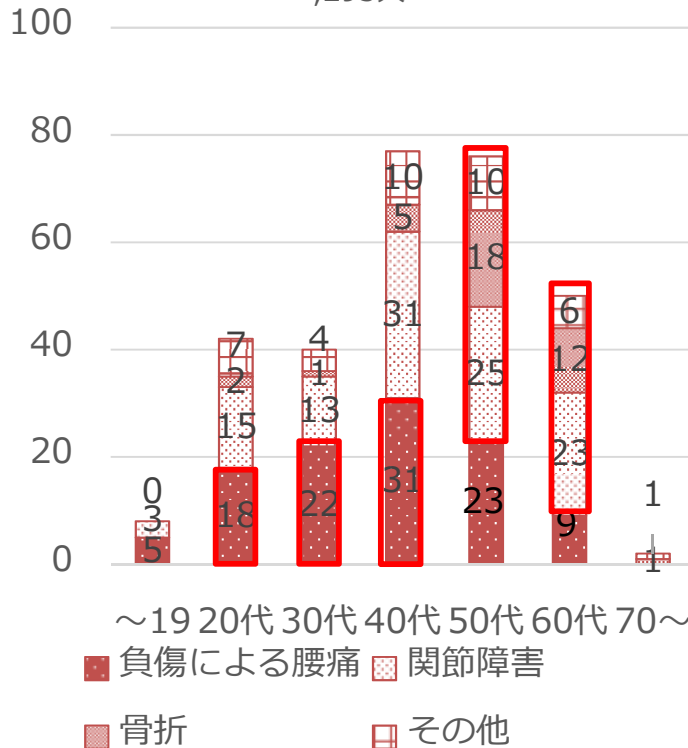
高齢となるほど多い
50代では骨折が約7割

総合スーパーの労働災害発生状況

- 動作の反動・無理な動作による労働災害は、**40代まででは腰痛が最多**。**50代以降は関節障害、骨折が多くなる**。
- 転倒災害を場所別で推計すると**46%が店舗内**、**28%がバックヤード**で発生。**店舗内での転倒災害のうち、つまづきによるものが56%**。**バックヤードでの転倒災害のうち、滑りによるものが40%**。

動作の反動・無理な動作 年代別・傷病性質別

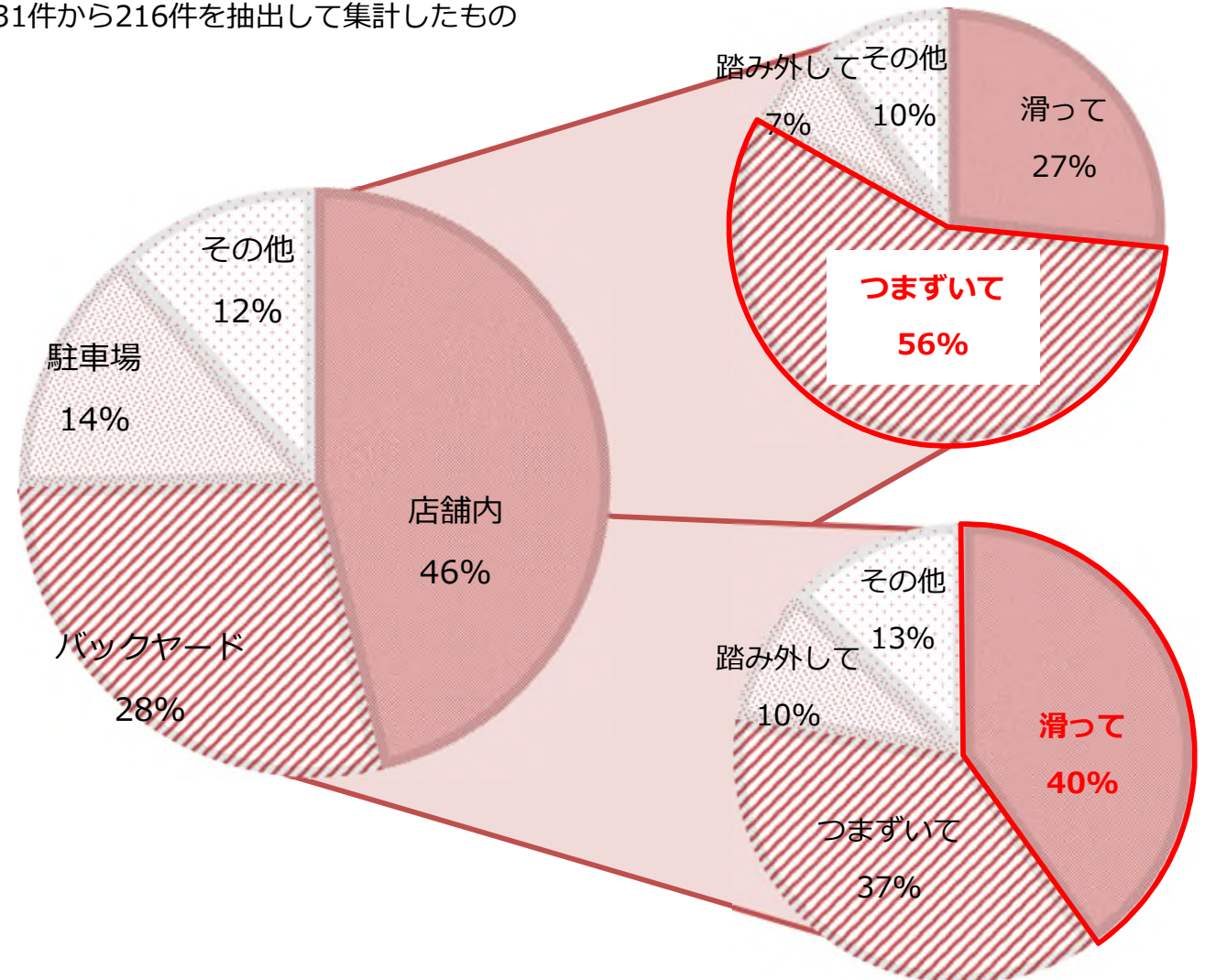
動作の反動・無理な動作
295人



50代以降で関節障害、骨折が多い

転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年に総合スーパーで発生した転倒による労働災害631件から216件を抽出して集計したもの

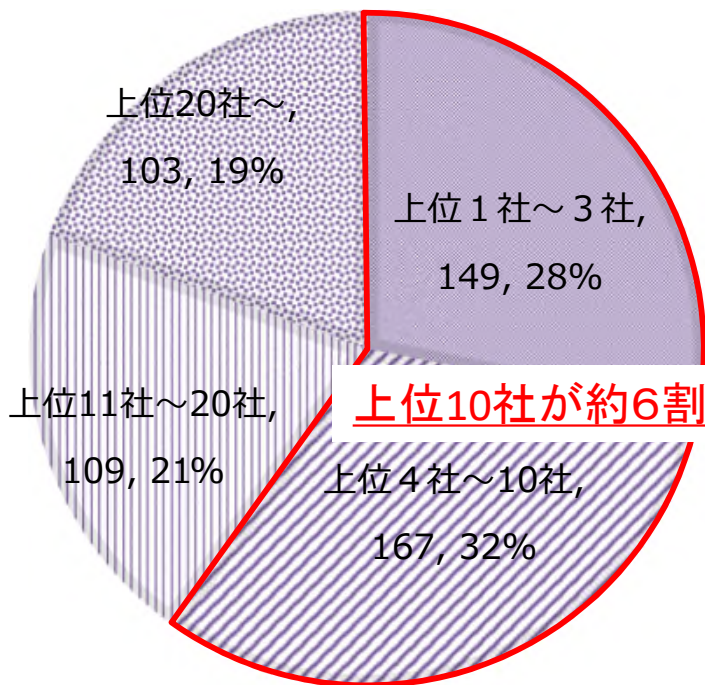


ホームセンターの労働災害発生状況

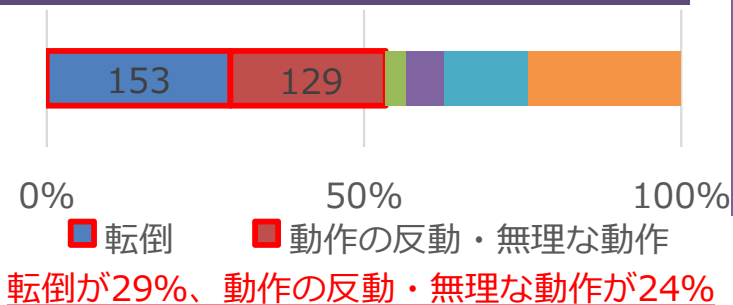
- 転倒災害を場所別で推計すると店舗内で発生したものが54%。店舗内の転倒災害のうち、つまづきによるものが50%。
- 動作の反動・無理な動作は商品運搬作業中に発生したものが62%。

企業単位別

死傷者数,528人

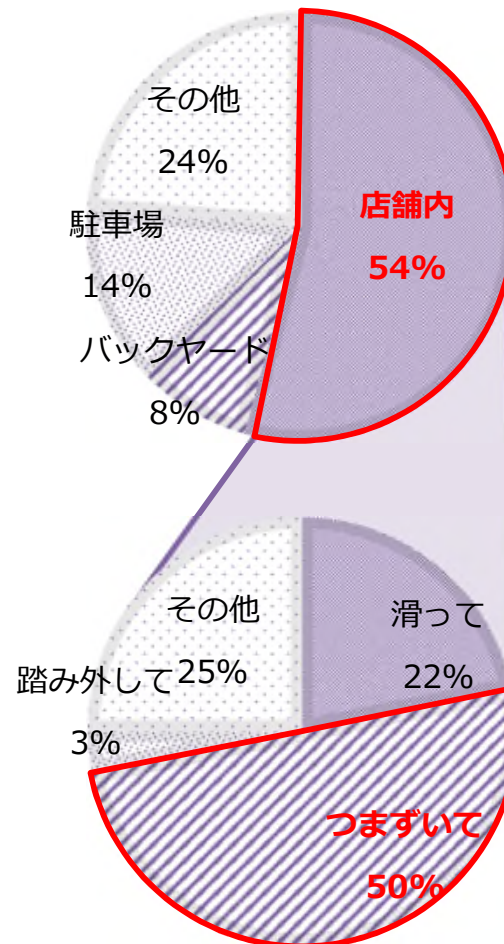


事故の型別



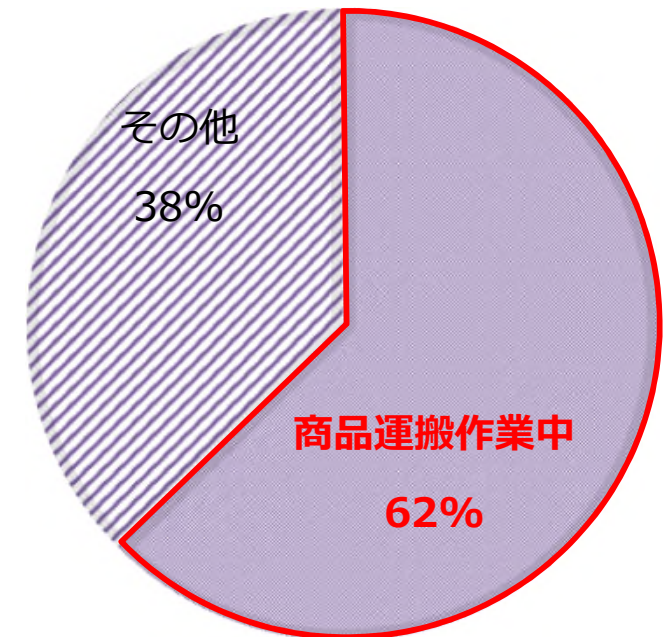
転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にホームセンターで発生した転倒による労働災害153件から59件を抽出して集計したもの



動作の反動・無理な動作 作業別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にホームセンターで発生した動作の反動・無理な動作による労働災害129件から48件を抽出して集計したもの

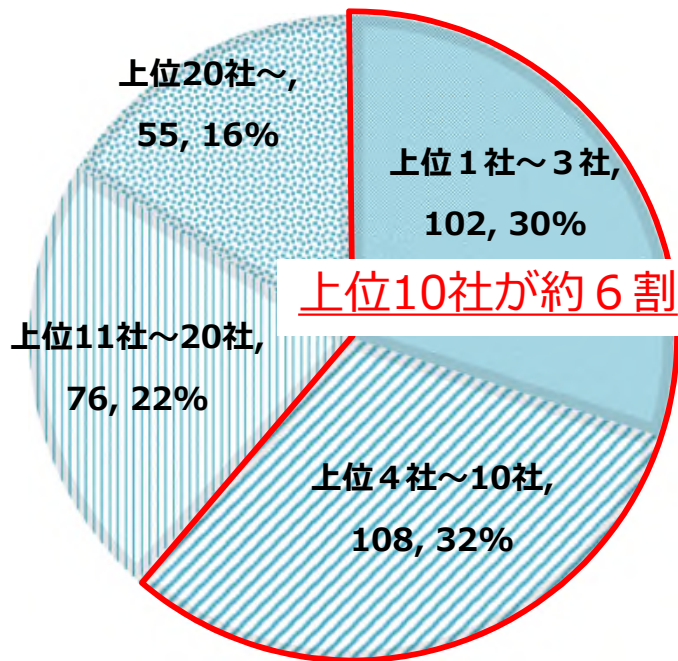


ドラッグストアの労働災害発生状況

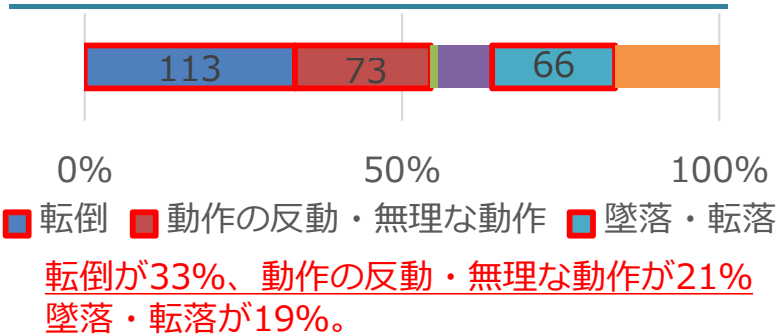
- 転倒災害を場所別で推計すると店舗内で発生したものが40%。店舗内の転倒災害のうち、つまづきによるものが56%。
- 墜落・転落災害のうち脚立からのものが80%。

企業単位別

死傷者数,341人

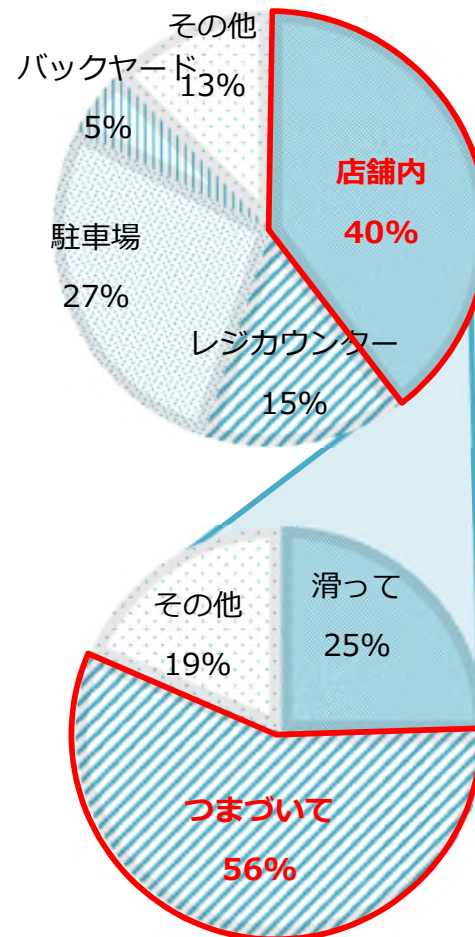


事故の型別



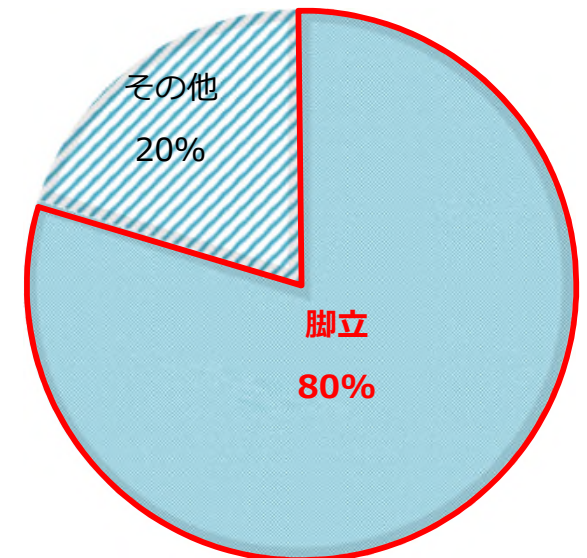
転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にドラッグストアで発生した転倒による労働災害113件から40件を抽出して集計したもの



墜落・転落災害 起因物別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にドラッグストアで発生した墜落・転落による労働災害29件から10件を抽出して集計したもの

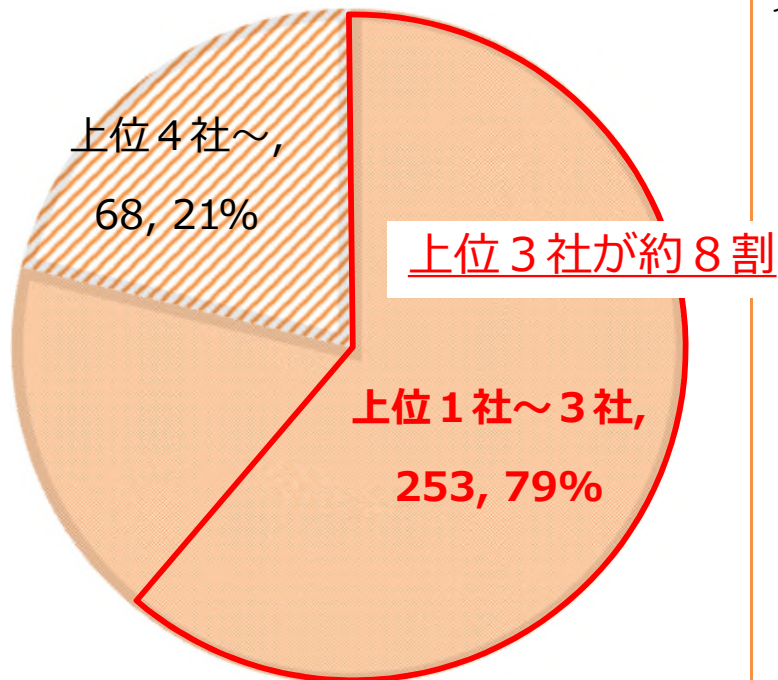


コンビニエンスストアの労働災害発生状況

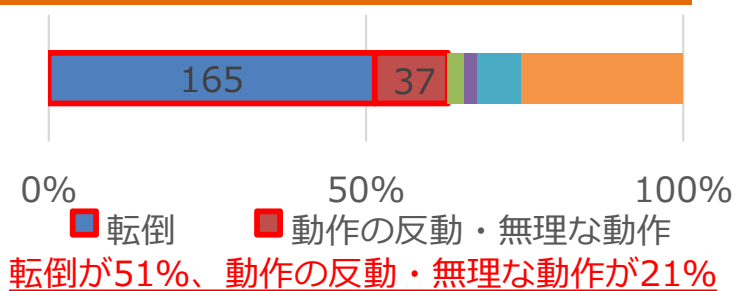
- 転倒災害を場所別で推計すると**店舗内で発生したものが40%、レジカウンターで発生したものが21%。**
- 店舗内での転倒災害のうち、**つまづきによるものが39%。**レジカウンターでの転倒災害のうち、**つまづきによるものが83%。**

企業単位別

死傷者数,321人

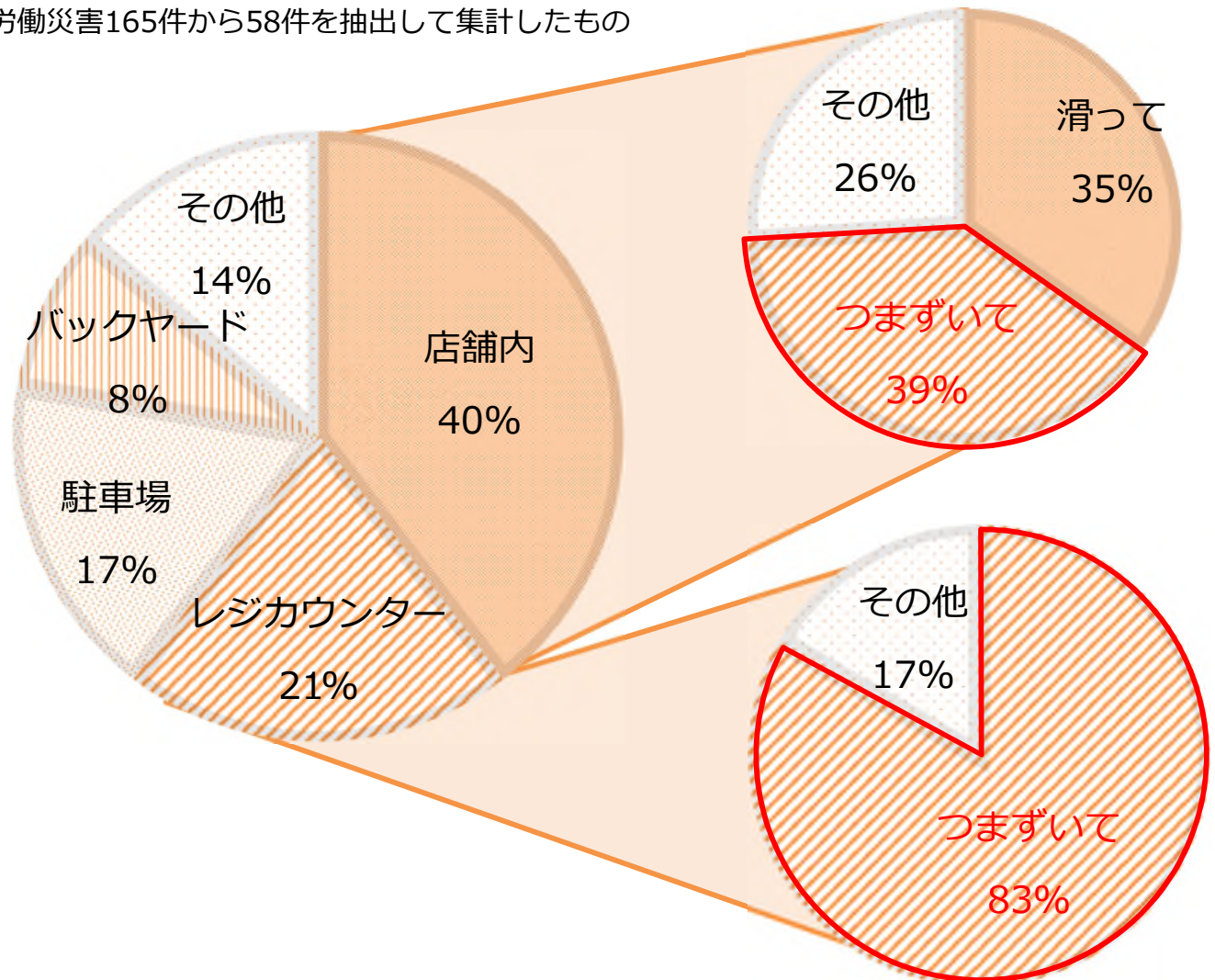


事故の型別



転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にコンビニエンスストアで発生した転倒による労働災害165件から58件を抽出して集計したもの



滑り

つまづき

踏み外し

店頭での転倒に要注意

でんとう
10月10日は
転倒予防の日



滑り止め
つけておきたい
口と足

数字で見る
食品スーパーでの転倒

労働災害の
うち転倒

約 **4** 割

休業1か月以上

約 **6** 割

女性

約 **9** 割

50代以上

約 **8** 割

出典：平成29年 労働者死傷病報告より

2015年・転倒予防川柳大賞作品（東京都 佐川 晶子）



厚生労働省



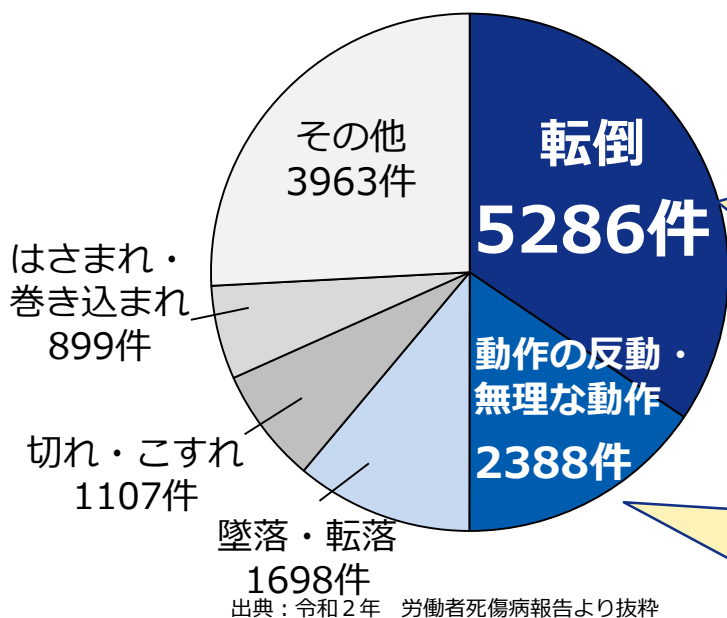
日本転倒予防学会

店長から従業員の皆さまへのお願い

小売業事業主の皆さまへ

人材確保のためにも 安全・安心な施設づくりに取り組みましょう

小売業における労働災害（年間総15341件）



転倒

全体の

34%



動作の反動
無理な動作

全体の

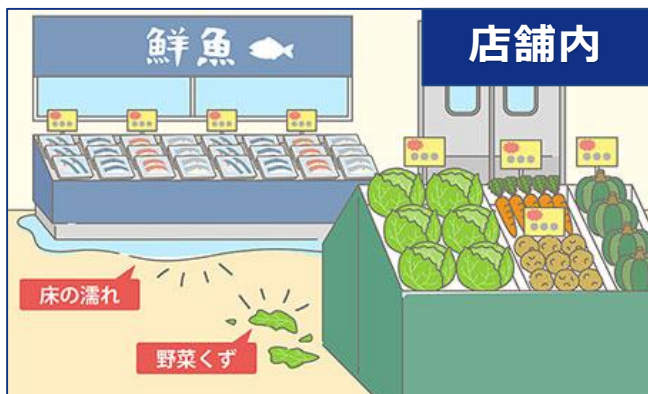
16%



転倒リスクがある場所



出典：政府広報オンライン



出典：政府広報オンライン

例えば食品スーパーの転倒災害状況

出典：平成29年 労働者死傷病報告より

労働災害のうち
転倒

約4割

休業
1か月以上

約6割

女性

約9割

50代以上

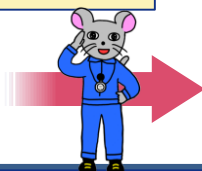
約8割

安全・安心な施設づくりのために、裏面の対策に取り組みましょう



厚生労働省

ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare



利用者・従業員の 安全・安心な施設づくりのため 下記の対策に取り組みましょう

作業場所の
整理整頓



作業場所の
清掃



毎日の運動



危険箇所の
見える化



手すりの
設置



滑りにくい
靴の着用



持ち物の
制限



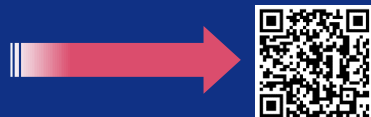
重い物は
2人で保持



台車の利用



安全で安心な店舗・施設づくりに取り組みましょう！
詳しくはこちらをチェック！



小売従業員が安心して働くために

整理・整頓 清掃・清潔

見た目にきれいなだけでなく、つまづいたり転んだりすることも減りました



厚生労働省のホームページで4S（整理・整頓・清掃・清潔）の方法を公開しています。



危険の見える化

危険の原因が誰から見てもわかるので、事故やケガが減りました



厚生労働省ホームページで「職場の危険の見える化（小売業）実践マニュアル」をご覧ください。



設備の改善

滑らず蒸れない靴のおかげで快適！



うっかり手を切る心配がありません！

段ボール専用カッターを使用する。



職場環境の改善等のために、エイジフレンドリー補助金をご活用ください。

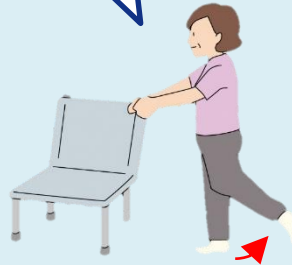


転倒・腰痛 予防体操

足を前に



足を後ろに



YouTubeで、転倒・腰痛の予防に役立つ「いきいき健康体操」をご覧ください。

